■養成所ニュースプラス第 14 号 2025□■

今日からスクーリングの東京会場 B 日程が始まりました。猛暑日が続きますが、クラスの皆さんと乗り切っていきましょう。

Plus Quiz は「社会福祉の原理と政策」から「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」についての問題です。

■Plus Quiz · · · ·

【36 回問題 27】次のうち、「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」で示された内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1. 在留外国人の出身国籍が多様化する傾向が止まり、南米諸国出身の日系人が在留者の大部分を占めるようになった。
- 2. 日本社会に活力を取り込むために、高度で専門的な技術・知識を有する者以外の外国人材の受入れを抑制する。
- 3. 外国人との共生社会は、一人ひとりの外国人が日本社会に適応するための努力をすれば実現可能である。
- 4. 外国人が安全に安心して暮らせるように、外国人に対する情報発信や相談体制を強化する。
- 5. 共生社会の実現のために、在留外国人には納税及び社会保険への加入の義務を免除する。
- ※「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」とは、外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議が 2022 (令和4)年6月14日に策定した文書のことである。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info · · · · ·

・(36-37 期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ 申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に"レポート作成・提出チェックリスト"があります。 レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。
- ・(第 36-37 期生) 今夏のスクーリングの日程及び会場のご案内です。 詳しくはこちら→https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1566153&c=3246&d=99c7

■Test Info · · · · ·

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第38回国家試験は、令和8年2月1日(日)です。
- 詳しくはこちら→https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1566154&c=3246&d=99c7
- ・第 38 回社会福祉士国家試験『受験の手引』請求窓口が開設されました。 詳しくはこちら→https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1566155&c=3246&d=99c7
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。 詳しくはこちら→https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1566156&c=3246&d=99c7
- ・本養成所では、受験対策講座の一環として「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」を web にて公開しています。

また、新たに保護観察官による「更生保護出張講座」を公開しました。

アクセスするための URL やパスワード等のお知らせは、養成所ニュースプラス第 6 号配信時に PDF データを添付しておりますので、確認のうえぜひ受講してください。

URL はこちら→https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1566157&c=3246&d=99c7

■Plus Info · · · ·

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。 詳しくはこちら→https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1566158&c=3246&d=99c7

■Back Number · · · ·

過去のバックナンバーはこちら→https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1566159&c=3246&d=99c7

■Plus Column · · · · ·

【受験対策ミニ講座第 10 回/無料受験ツールの活用】

今回は、「無料ツールの活用」についてお伝えします。スクーリングの受験対策ガイダンスでは、「過去問トライアル」で 6割に届かなかった方には、「過去問解説集」「受験参考書」「模擬試験」「模擬問題集」を軸にして勉強を進めてほしいと伝えています。

しかし、「文字」を読んでいても頭に入ってこなかったり、理解しづらい問題にぶつかることもあるでしょう。そんな時、手軽に使える無料動画が助けてくれるかもしれません。何人かの先輩が挙げた「カリスマ社会福祉士」だけでなく、今や複数の YouTuber が国家試験に関する動画を公開しています。稀に、間違っている情報もあるようで注意は必要ですが、補助教材として使うにはお勧めです。図表での説明が多く、説明を何回も繰り返して聞くことができます。

知識をアウトプットして定着させるためには、無料の問題アプリが利用できます。スマホ等で隙間時間に簡単に取り組むことができるツールです。例えば、中央法規の「けあサポ」は、次のようなコンテンツが使えます。

- ・「今日の一問一答 | ~毎日5問の○×問題がランダムに配信されます。
- ・「今週の穴埋め問題」~週末に3問程度の問題が配信されます。
- ・「月イチ確認テスト」~1か月間の一問一答問題から出題されます。

また、「過去問ドットコム」というサイトには、第 27 回から第 37 回までの全ての問題と簡単な解説があります。過去問解説集と並行して 5 年分を繰り返したという先輩もいました。

養成所からは、入学時に郵送した「国家試験キーワードチェック」が穴埋め問題集として使えます。修了時には、知識を想起する問題をまとめた「頻出項目チェックテスト」や書き込みながら学べる「ソーシャルワーク年表」「頻出人名リスト」をお送りします。受験勉強の進捗状況に合わせて使ってください。

次号、次々号は37期生に向け、2学期レポート作成のポイントをお送りします。

【Plus Quiz・・・・正答と解説】

今月初め、総務省は今年1月1日時点の人口を発表しました。日本人は昨年から約90万人減少し、調査以来最大の減少数となり、外国人は昨年から約35万人増加し、調査以来最大の増加数となりました。日本人人口の減少を外国人人口の増加で補うという形になっていることがわかります。

また、生産年齢人口も昨年から約50万人減少し、日本人全体の6割を割り込みました。人口減に加え高齢化が進んだ地域では、外国人が地域の担い手になっているとも言われます。中小企業は、外国人を雇用する理由を人手不足を補うためと答え、特に製造業や運輸業、建設業の雇用希望が高いそうです。

政府は、外国人も共生できる社会の実現のため、2018(平成30)年には「外国人材の受入・共生に関する関係閣僚会議」が設置され、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」がまとめられました。2022(令和4)年、中長期的な施策を示す「外国人との共生社会実現に向けたロードマップ」が策定され、毎年点検しながら5年間進めていくことになりました。3つのビジョンと4つの重点事項が示されています。

第 37 回問題 23 でも、「多文化共生社会の実現に向けた取組」が出題されており、注目の課題ともいえます。

1. ×在留外国人の国籍は多様化していますし、南米諸国出身の日系人に加えて、アジア諸国出身の外国人が大幅に増加

しています。

- 2. ×高度で専門的な技術・知識を有する外国人材以外の受け入れを抑制するとは書かれていません。専門的・技術的分野の外国人労働者の受け入れだけでなく多様性に富んだ社会を目指しています。
- 3. ×外国人との共生社会は、一人一人の外国人が日本社会に適応しようとすることだけ で実現するわけではありません。外国人を含むすべての人が互いに個人の尊厳と人権を尊重し、差別や偏見なく暮らせる社会を目指すことで可能になると示されています。
- 4. ○すべての外国人が取り残されずに安全に安心して暮らすために、「外国人に対する情報発信・外国人向けの相談体制の強化」を中長期的な課題としています。
- 5. ×共生社会実現のために、在留外国人の納税と社会保険加入義務を免除するとは書かれていません。納税等の公的義務を履行し、社会の一員として責任ある行動を期待しています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus